

川内便り



【発行責任者】福岡さつま川内会会長 新留育郎 ☎090-5472-4881 ✉i.niidome@hosjas.com
【事務局】福岡さつま川内会代表幹事 窪田早成 ☎090-2659-5836 (くぼた総合法律事務所)

第12回福岡さつま川内会総会&交流会 令和6年2月18日(日)八仙閣本店

薩摩川内市長、薩摩川内市議会・正副議長、川内商工会議所副会頭をお迎えし、
4年ぶりに、制約のない開催で、故郷の今を知り、絆を深めました

第12回総会&交流会(意見交換会)は、薩摩川内市から、田中良二市長、大田黒博市議会議長、森永靖子副議長、藤井廣明川内商工会議所副会頭はじめ関係部署の幹部の方々をお迎えし、総勢55名の参加で、博多駅近くの八仙閣本店にて、11時30分より盛大に開催されました。新型コロナが落ち着いて「5類感染症」に移行したこともあり、4年ぶりに、新型コロナ出現前と同様、制約のない対面形式での開催となり、飲食を共にしながら、故郷談義に花が咲き、故郷への想いを募らせ、同郷の絆を深める有意義な会となりました。

総会では、2023年度活動&会計報告と2024年度活動計画について審議が行われ、何れも提案通り承認されました。続く交流会では、会長挨拶の後、市長・議長・副会頭から、「川内大綱引の国重要無形民俗文化財指定の喜び」「昨秋、薩摩川内市で開催された鹿児島国体のバスケットボール等5競技の熱戦」「あの大谷翔平選手がホームランを打つ度にかぶって一躍世界に知れ渡った兜」にまつわる元気の出るお話の後、花木隆観光文化スポーツ対策監より「観光文化スポーツ施策」についてビデオ付で説明があり、アフターコロナを見据えた様々な取り組みが着々と進行していることを知り、会員夫々に、故郷を誇りに思い、身近に感じることが出来ました。

休憩をはさんで森永副議長の発声で乾杯の後、円卓のご馳走に箸を伸ばし、芋焼酎やビールを片手に、会員の皆さんの近況報告に耳を傾けながら語り合い、恒例の「お楽しみ新春福引会」では一喜一憂、和やかに楽しいひと時を過ごしました。西谷代表顧問の「博多手一本」で締めて交流会はお開きとなり、皆さん、川内(向田町)の「あまつや」さんから取り寄せたあの懐かしい「むっかん・春駒」のお土産を手に、「はいなら、皆さあ、元気でなあ！またごあんそ！」と顔をほころばせ余韻に浸りながら会場を後にされました。



市長(左)・会長(右)



円卓を囲んで話も弾む

福岡さつま川内会 新留会長 挨拶

同郷の絆で、イキイキ、元気に、楽しく！

こんにちは。2013年1月19日に発足した当会は、皆さまのご理解とご支援により、個人会員91名、法人会員10社と会員数も増え、ここに12年目を迎えることが出来ました。本当に有難うございます。本日は、薩摩川内市より、市長さん、市議会議長・副議長さん、川内商工会議所副会頭さんはじめ9名の皆さまにご来臨賜り、誠に有難く、厚くお礼申し上げます。皆さま方から故郷の近況や故郷活性化の今後計画等をお聞きかせ頂き、「川内(せんで)もきばっちよいやあな。故郷は、いっずいでん元気であつて欲しか。おいどん達つも、もちつと応援せんといかんどなあ…」と交流会の度に故郷への思いを強くする私たちです。

さて、厚労省の発表によれば、今から26年後(2050年)の薩摩川内市の15歳～64歳の生産人口は、2020年に比べ34%・17000人減少するそうです。鹿児島県下で減少が一番少ないのは始良市で24%減少、二番目が鹿児島市で28%減少、薩摩川内市は五番目です。都心部で天神ビッグバンが進み、今、日本で一番元気と言われる福岡市でさえ10%減少となっています。少子高齢化と人口減少が進む中で、地方都市がサステナブル(持続可能)な発展を続けていくには厳しい現実があります。

そんな中、最近、故郷の明るいニュースに触れる機会が増え、私はワクワク・ズキズキしています。中学卒業して丸武産業に就職した同級生が、「おいどん達が作った兜は三船敏郎がかぶったど！」と誇らしげに鎧・兜づくりに励んでいましたが、その兜をMBLの大谷選手がかぶって、薩摩川内の名が全国に知れ渡りました。「コツコツと努力すれば、誰かが助けてくれる。いいものは、いつかは評価され全国に広まって、地域も活性化する」。街おこしの原点を見た思いです。

私たち会員も、ロコミや会報「川内便り」、当会ホームページで故郷の魅力を発信し、特産品販売や故郷納税に協力したり、薩摩川内観光やイベント見学を呼び掛けるなどして応援しています。故郷は私たち会員の心の拠り所であり、故郷の空気を感じるだけで元気になり、同郷つながりで交流を深め、一杯飲みながら食べながら語り合うことで、日頃の疲れもストレスも吹っ飛んで、仕事にも、学びにも、遊びにも張りが出てくるからです。

それが出来るのも健康あってこそ。私は今、あいうべ体操にハマっています。朝・昼・晩10回ずつア・イ・ウ・ベと発声するだけで正しい呼吸(鼻呼吸)ができるようになるとか。コロナやインフルエンザを寄せ付けず、イビキもなくなり、誤えん性肺炎も予防できるそうです。そんな健康づくりの秘訣を「健康読本・食卓の向こう側」が分かり易く医学的に教えてくれます。本書は、健康づくり(健康維持・増進・回復)の参考になるかと思えます。健やかないい日を、一日でも多く過ごせるように願いながら続けています。

※本書ご希望の方は、私宛ご連絡下さい(会員特別価格1300円)。それでは皆さん、今日は、久しぶりの飲食ありの懇親会です。美味しい料理と五代焼酎を味わいながら故郷談義に花を咲かせ、楽しいひと時をお過ごしください。(総会会長挨拶より)

第12回 福岡さつま川内会総会&交流会 式次第

- 第一部 総会 (進行：窪田代表幹事) 11:30
議案審議 第1号議案 2023年度 活動・会計報告
第2号議案 2024年度 活動・予算計画報告
- 第二部 交流会 (進行：森田壮年部会長) 11:45
- 福岡さつま川内会会長挨拶 新留 育郎
 - 薩摩川内市市長ご挨拶 田中 良二 様
薩摩川内市市議会議長ご挨拶 大田黒 博 様
川内商工会議所副会頭ご挨拶 藤井 廣明 様
 - 観光文化スポーツ施策について 花木隆 様
観光文化スポーツ対策監 花木隆 様
- (休憩)
- 乾 杯 薩摩川内市議会議長 森永靖子 様 12:30
(食事・歓談)
 - 故郷情報(ホットニュース)
(1)川内三大祭りビデオ(大綱引・はんや祭り・花火大会)
はんや祭りに参加して MJテクノロジー高柳健一取締役
(2)ようこそ Sキューブホテルへ
S CUBEHOTEL by SHIROYAMA 木場良一常務
(3)ようこそ 直営通販サイト 駅市薩摩川内へ
売れ筋お土産品 薩摩川内市観光物産協会 井龍大社長
(4)食生活改善推進の取り組み 森永靖子 市議会議長
(5)会員情報(新会員自己紹介など)
新会員 純浦じゅんさん/肌本来の美しさをお手伝い…
新会員 山口哲生さん/レトロフィット電気バスのご紹介
新会員 児玉敏雄さん/父の後に続き入会しました…
新法人会員 鹿児島銀行福岡支店さん/支店のご紹介
 - お楽しみ新春福引会 (進行：羽子田政則青年部会長)
【景品提供】・薩摩川内市(故郷特産品10セット)
・商工会議所(焼酎5本)・福岡さつま川内会(山元酒造商品5本)
・Sキューブホテル(宿泊ペア招待券)
・ソフトバンクホークス(野球観戦チケット)
・HOSJAS企画(博多織パステス・本/食卓の向こう側)
 - 閉会の言葉 西谷和武 代表顧問 13:50
～お土産(あまつやのむっかん・春駒)お持ち帰りお忘れなく～
故郷の観光・伝統・物産品情報を発信し、応援しましょう

祝 20th ANNIVERSARY 薩摩川内市誕生20周年 市制施行 平成16年10月12日

平成16年10月12日、川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甕村、下甕村、鹿島村が合併し、**薩摩川内市**が誕生。市では、未来に向けて更なる飛躍を目指し記念事業が実施されます。**裏ページへ続く** ➡



市章



市木：くろがねもち



市花：カノコ百合



市鳥：メジロ



市魚(川)：アユ



市魚(海)：キビナゴ

■薩摩川内市の面積(千平方m)

宅地	田・畑	山林・原野	雑種地・その他	総面積
26,590	77,954	386,585	191,791	682,920
3.9%	11.4%	56.6%	28.1%	100.0%

■薩摩川内市の人口・世帯数(15年前との比較)

基準日	男性	女性	合計	世帯数
2024年4月1日	44,257	46,737	90,994	41,335
2009年4月1日	48,020	53,133	101,153	41,599
基準日	0～14歳	15～64歳	65歳以上	65歳以上比率
2024年4月1日	12,053	48,732	30,209	33.2%
2009年4月1日	14,713	59,147	27,293	27.0%

写真・画像は薩摩川内市提供

参考：薩摩川内市HP統計データより

祝 薩摩川内市誕生20周年 市制施行 平成16年10月12日



田中市長メッセージ

本年は、薩摩川内市誕生20周年の節目の年です。平成16年10月12日に1市4町4村での平成の大合併により、鹿児島県で最初に誕生した自治体として薩摩川内市がスタートしました。

市制施行10周年以降、第2次総合計画に基づき持続可能で魅力的なまちづくりを目指し、地区コミュニティ協議会を核としたまちづくりにより、各地で特色のある活動が活発に展開されています。

また、甕島島民の悲願であった甕大橋の開通や川内駅コンベンションセンターのオープン、重要港湾川内港の整備と活用促進に向けての取り組みなども着実に前進し、昨年は、51年ぶりの本県開催となった「特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会」が開催され、本市では5つの正式競技を実施することができました。

そして、現在は、次期10年のまちづくりの指針となる第3次総合計画の策定を進めているところであり、これからも中期的展望に立って「薩摩川内の未来創生」の実現に向け、職員一丸となって取り組んでまいりますので、市民の皆さまの格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。(2024年01月04日)

※本メッセージは、薩摩川内市誕生20周年記念サイトより転載しました

➔ <https://www.city.satsumasendai.lg.jp/soshiki/1042/2/20/index.html>

薩摩川内市誕生20周年記念花火大会に協賛します



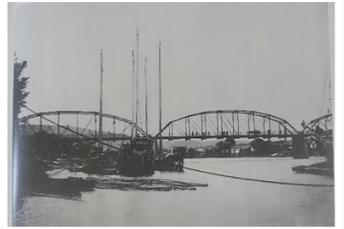
薩摩川内市誕生20周年記念して、8月16日(金)川内川開戸橋下流で開催されます。当会協賛の花火も打ち上げられます。花火打上場所の向かい側河川敷に特別観覧チケット10枚あります。ご希望の方は事務局までお申込みください。(先着順)

川内川とともに生き 発展してきた薩摩川内市

陸の交通の動脈

市民に親しまれてきた太平橋架橋

川内川に初めて橋が架けられたのは明治8年。初代太平橋は県令・大山綱良の命により平佐町出身の名匠/阿蘇鉄矢が管理設計し完成したが、西南戦争の明治10年、薩軍の手によって焼落。明治33年、ロンドンのテムズ川に架設予定の資材を転用し、アーチ型の優美なつり橋



(四代目太平橋)が造られ川内市のシンボルとなりました。昭和54年に現在の鉄筋コンクリート製の六代目が竣工。市中心部の交通の動脈として利用されている。(写真は「北薩の昭和」 樹林舎発行より)

海の玄関口

川内港国際定期コンテナ航路 開設20周年

昭和62年4月の関税法上の開港指定以降、外国貿易港の機能を段階的に整えていき、平成16年4月の国際定期コンテナ航路が開設されたのを契機に、貨物量も着実に増加しています。



薩摩川内港には、韓国釜山港と結ぶ韓国(釜山)航路2航路、神戸港と結ぶ国際フィーダー航路1航路の3航路週5便が現在就航しており、釜山との直行航路充実や国が推進する国際コンテナ戦略港湾とのトランシップにより、全世界への物流ルートが確保され、安定したコンテナサービスを提供しております。

災害を乗り越え完成

先人の汗と涙の結晶 長崎堤防(高江)

川内川河口近くの高江地区は広い沼地で、大雨の度に堤防が壊れ泥水や海水で被害にあい、高江三千石 火の地獄と言われるような米作りが困難な地域でした。薩摩藩主/島津光久は、延宝7年(1679年)、小野仙右衛門(宮崎市生れ)に干拓工事を命じましたが、工事は難航を極め、軟弱地盤で洪水が多発し多くの犠牲者が出ました。



ある夜、仙右衛門と娘の袈裟は、「娘を人柱に立てよ。その流れに沿って堤防を築け」と告げる不思議な夢を見て、翌朝、仙右衛門の娘は自ら川に身を投げてしまいました。仙右衛門は嘆き悲しみながらも、お告げの通り長い縄を流れに乗せて流し、縄の流れに沿って七つの鋸歯状に杭を打ち石垣を築くと工事はうまくいき、貞享4年、約8年の歳月をかけ、長さ640mの長崎堤防が完成、沼地は面積3平方キロの肥沃な高江新田に生まれ変わりました。以後の改修工事でも仙右衛門の築いた形状は今もそのまま残されています。土木学会推奨 土木遺産指定。仙右衛門の功績を称え建立された小野神社の下の崖には「心」の文字が刻まれています。

(参考文献/わがまち川内/川内市発行、鹿児島県HP) (新留筆)

川薩の物流を支えた鉄道

九州新幹線と肥薩おれんじ鉄道 開業20周年

- 1909(明42)年 鹿児島本線全線開通(門司港⇄鹿児島/人吉・吉松経由)
- 1914(大3)年 川内線開通(川内⇄鹿児島)、1922年鹿児島本線に改称
- 1924(大13)年 大川線開通(川内⇄樋脇)、後に宮之城線に改称➔1937年(川内⇄大口)全線開通
- 1927(昭2)年 鹿児島本線 ルート変更し、全線開通(門司港⇄鹿児島/出水・川内経由)
- 2004(平16)年 九州新幹線全線開通(博多⇄鹿児島) 肥薩おれんじ鉄道移管開業(川内⇄八代)



福岡さつま川内会の活動方針

故郷を拠り所に、交流を深め助け合い、お互いに元気になろう！ 故郷を応援しよう！

2024年度 活動計画 (交流会・情報発信・会員増強・故郷応援)

1. 総会&交流会(意見交換会) ➔ 2月18日(日)
2. 会報「川内だより」発行 ➔ 年2回(春/秋) 故郷&会員情報・お知らせ等を広く発信する
3. 拡大役員会(4・7・10・12月第2金曜) ランチ会、ビール会(7月)、勉強会を兼ねて実施
4. 故郷巡り ➔ 市誕生20周年イベントに併せて計画 ○花火大会 ○大綱引 ○はんや祭り ○甕島巡り
5. 故郷特産品の配布(12月)・販売促進 ○故郷定期便配布 ○金柑等特産品共同購入
6. ふるさと納税協力(呼び掛け・利用促進)
7. 福岡開催の観光物産展案内(口コミ・販売協力)
8. きばいやんせ薩摩川内 〇ご利用特典サービス 会員証(右写真)を提示すれば特典サービスが受けられます。サービス加盟店は、このページ右下段に記載しています。

大綱引 9月21日(土)



はんやまつり 11月3日(日)



2023年度 会計報告

単位：円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年繰越金	234,199	③故郷定期便	146,735
①年会費	258,000	④会報川内便り発行費	105,840
②交流会費剰余金	98,270	⑤会議費	76,586
①年会費(2023年1月～12月入金分)		⑥事務費	60,017
2023年度分 35名/193,000円		切手通信費	12,512
(2022年12月に37名/154,000円納入済)		総会等資料	30,507
2024年度分 16名/65,000円		振込手数料	7,397
③故郷定期便(2000円相当)		消耗品雑費	9,601
年会費納入の70名に宅配しました		⑦交流会商品代	66,201
④会報発行費(年2回/カラー/各200部)			
制作編集&印刷&郵送料など		支出計	455,379
⑤会議費(役員会4回)資料・コーヒー代		翌期繰越金	135,090
⑦商品代 交流会の景品・お土産代			
収入計	590,469		

福岡さつま川内会の 法人会員 をご紹介します

Creating the future, Safety & Skill - 安全と技術が未来を拓く -
株式会社 川北電工
 代表取締役社長 田中 陽一郎
 本 社 鹿児島県鹿児島市東開町4番地79 TEL 099-267-0061
 川内本部 鹿児島県薩摩川内市矢倉町4311番地1 TEL 0996-25-1100

焼酎の源流 醸して百十年
山元酒造 株式会社
 代表取締役社長 山元隆功
 通販蔵 godai-eshop.com

暮らしを支えるエネルギー産業
荒木商事 株式会社
 代表取締役社長 荒木貞行
 福岡事務所 092-710-5135

甕島から自然の恵みをお届け
こしき海洋深層水 株式会社
 南国殖産グループ
 通販 koshiki-dsw.co.jp

利便性・快適性・機能性を備えた
 シティ&ビジネスホテル
S CUBE HOTEL
 by SHIROYAMA
 川内駅東口 0996-25-5225

観光・特産品のことなら
株式会社薩摩川内市観光物産協会
 土産専門店： 駅市薩摩川内
 下甕島支店： 0996-24-8114

解体機レンタル/販売/修理
油機エンジニアリング 株式会社
 代表取締役社長 牧田尚起
 大宰府市 www.yukieng.co.jp

人と企業と故郷を応援
HOSJAS企画 合同会社
 CEO兼代表 新留育郎
 福岡市 https://hosjas.com

人も地球も健康に
Yakult
 川内ヤクルト販売株式会社
 代表取締役社長 影山俊二 0120-304-699

お客さまと地域をつなぐ
鹿児島銀行 福岡支店
 福岡市博多区博多駅前2-19-22
 www.kagin.co.jp/ 092-461-1631

きばいやんせ薩摩川内加盟店
 川内駅/ S CUBE HOTEL 0996-25-5225
 川内駅/ 駅市薩摩川内(土産専門店) 通販 0996-29-4430
 下甕島/ こしき海洋深層水(株) 通販 0120-549-375
 蘭牟田/ 松田農場(金柑) 0996-56-0426
 【糸島市】古材の森(レストラン&カフェ) 予約 092-321-4717
 網津町/ 檜木商店(海産物) 0996-26-2227

コミュニケーションボード

<p>法人会員ご紹介</p>	<p>荒木商事株式会社</p>	<p>会社設立50年～創業107年の想いを受け継ぎ、未来を拓く、グッドカンパニーへ～</p>																						
	<p>創立50周年を迎えて 社長ご挨拶</p> <p>早春の候、時下益々清祥の段、お喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。お蔭さまをもちまして、【設立50周年】を迎えることができました。創業1916年10月より107年目を迎えましたが、ひとえに皆さま方のご愛顧とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。</p> <p>創業時は、木材業から始まり石油販売業に転換し、昭和と平成の時代をエネルギーの変遷とともに業態を変えながら発展してまいりました。現在では、原子力発電所をはじめとするエネルギー関係の仕事を基盤に事業展開しております。</p> <p>令和となる時代には、エネルギー関連産業を通じて社会のお役に立てる会社として、また昨今の環境に関する課題を解決すべく、SDGsに関わる事業展開を目指してまいります。</p> <p>これからも、「信頼できるパートナー企業」を目指して、社会に貢献したいと考えておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">2024年3月吉日 荒木商事株式会社 代表取締役社長 荒木 貞行</p>	<table border="1"> <tr> <td>創業</td> <td>大正5年 (1916年)</td> <td>資本金</td> <td>1,000万円</td> </tr> <tr> <td>社長</td> <td colspan="3">(代表取締役) 荒木 貞行 (4代目)</td> </tr> <tr> <td>本社</td> <td colspan="3">薩摩川内市隈之城町280-3 ☎ 0996-25-2191</td> </tr> <tr> <td>事業所一覧</td> <td colspan="3">空港バイパスサービスステーション (薩摩川内市永利町)</td> </tr> <tr> <td>関連会社</td> <td colspan="3">三共ファシリティー株式会社 株式会社若尊(わかみこ)</td> </tr> </table>	創業	大正5年 (1916年)	資本金	1,000万円	社長	(代表取締役) 荒木 貞行 (4代目)			本社	薩摩川内市隈之城町280-3 ☎ 0996-25-2191			事業所一覧	空港バイパスサービスステーション (薩摩川内市永利町)			関連会社	三共ファシリティー株式会社 株式会社若尊(わかみこ)				
創業	大正5年 (1916年)	資本金	1,000万円																					
社長	(代表取締役) 荒木 貞行 (4代目)																							
本社	薩摩川内市隈之城町280-3 ☎ 0996-25-2191																							
事業所一覧	空港バイパスサービスステーション (薩摩川内市永利町)																							
関連会社	三共ファシリティー株式会社 株式会社若尊(わかみこ)																							
<p>創業時のハッピー</p>  <p>“ちから”ある企業への発展を念願し、創業者/荒木嘉助の嘉の字の力をデザイン化。カに込められた「カ=パワー=エネルギー」の想いを受け継ぎ、暮らしを支えるエネルギー産業で、地域の皆さまに貢献します。</p>	<p>創設50周年を迎えて 社長ご挨拶</p> <p>早春の候、時下益々清祥の段、お喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。お蔭さまをもちまして、【設立50周年】を迎えることができました。創業1916年10月より107年目を迎えましたが、ひとえに皆さま方のご愛顧とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。</p> <p>創業時は、木材業から始まり石油販売業に転換し、昭和と平成の時代をエネルギーの変遷とともに業態を変えながら発展してまいりました。現在では、原子力発電所をはじめとするエネルギー関係の仕事を基盤に事業展開しております。</p> <p>令和となる時代には、エネルギー関連産業を通じて社会のお役に立てる会社として、また昨今の環境に関する課題を解決すべく、SDGsに関わる事業展開を目指してまいります。</p> <p>これからも、「信頼できるパートナー企業」を目指して、社会に貢献したいと考えておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">2024年3月吉日 荒木商事株式会社 代表取締役社長 荒木 貞行</p>	<p>創力貢献 豊かな暮らしのために 必要なエネルギーを</p>																						
<p>【社長プロフィール】 学校卒業後、機械部品メーカーに就職し営業一筋に経験を積み、26歳の時に荒木商事に入社。即、西日本プラント工業(株)に出向し川内原子力発電所の工事現場で修業。28歳で荒木商事に戻り、本所で営業/工事現場/人事/経理担当を委ねられ、後継者の立場であるが故の悩みと苦勞を味わいつつ、新米としての自覚を強く持ち、先輩社員に教えを乞いながら3年間必死に勉強して業務をマスター、社員の信頼も得られるようになり、2009年に35歳で4代目社長就任。川内原発3号機の増設に専念している矢先、2011年3月の東日本大地震と福島原発事故に遭遇し、その影響で会社は存亡の危機に。そこから、企業の持続的発展の為には、事業の柱を増やし、地域に根ざし、地元で愛されることが急務と決断し社員一丸となって励み、2017年にはグループ3社体制を構築。SDGsを推進し、環境問題解決や社会貢献活動にも取り組んでいる。地域になくてはならない企業として貞行氏への期待は大きい。</p>	<p>産業用資機材</p> <ul style="list-style-type: none"> ポンプ回転機器部品 メカニカルシール カップリング グランドパッキン 高圧洗浄機 プレハブ建築 厨房機材 	<p>石油関連商品</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車用燃料油 工業用潤滑油 発電用燃料油 グリース ガソリンスタンド カーケアサービス 	<p>安全管理用品</p> <ul style="list-style-type: none"> 防塵マスク 防護服 養生シート 熱中症対策用品 防災備蓄用品 																					
<p>【荒木貞夫会長プロフィール】 樟脳油や木材坑木の製造販売からスタートし、戦中戦後を通して約半世紀を生き延びてきた荒木商事は、1973年の第一次オイルショックで大打撃を受け、この年、共同石油特約店として新たにスタート。当時33歳の貞夫氏は山形屋を退職し家業を手伝いガソリンスタンドで働くことに。石油事業の知識ZEROでKL(キロリットル)の単位さえよく分らず難儀したとか。モータリゼーション花形のご時世ではあったが、貞夫氏はその将来に一抹の不安を覚え、即、福岡に乗り込み電力会社への営業を開始。辛酸を舐めながらも6年間、生来の薩摩隼人魂で訪問を繰返し、窓口を開けてコツコツ人脈作りになり、その努力が実り発電所のメンテナンスやオイル・資材供給の仕事受注に成功。1981年に43歳で3代目社長就任。「事業を維持継続していく中では危機に見舞われたり失敗も多々あるが、失敗によって得るものもあり、その失敗を次のチャレンジに活かせば「いい失敗」となる。「いい失敗に学び、変革を恐れず、時代を先取りしてチャレンジして行けば、新しい道を切り拓くことができる。"いい会社ですね"と言われるグッドカンパニーになりたい」と熱く語る。荒木商事の中興の祖。当会/西谷和武さんとは川内高校の同級生。</p> <p style="text-align: right;">👉 社長・会長プロフィールは新留記</p>	<p>SDGs活動 地球環境保護・街づくり・学校支援に取り組んでいます</p>																							
<p>会員動向 (代表顧問) 西谷 和武さん (小倉)</p>	<p>👏 福岡鹿児島県人会・南洲会会長に就任しました 👏</p>			<p>新会員ご挨拶 児玉 敏雄さん(御陵下)</p>																				
<p>透明な空気、強い太陽の光そして影、緑濃き山々、青い海、その地からは多くの偉人賢人が誕生しました。そんな鹿児島をふるさとに持つ者同士が集まり、誇りを胸に仕事を、趣味を、そして人生を語り合う そんな会でありたいなあ!!と、こんなことを考えながら、今年3月15日の総会で福岡鹿児島県人会・福岡南洲会の会長に就任しました。</p> <p>福岡での鹿児島県出身者の集まりは、昭和27年(1952年)にスタートしています。昭和27年と言えば、第二次世界大戦の敗戦から6年とちょっと、朝鮮戦争の真っ只中、焦土と化した日本に、「明かりがちょっと見えたかな?」といった時代だと思えます。この時は福岡鹿児島県人会としてのスタートで、「鹿児島を愛し、懇親を深め、お互いの繁栄と鹿児島の発展を計ろう!」とこんな目的だったようです。その後10年程して、福岡南洲会が設立、スタートしています。</p> <p>目的に、「西郷南洲翁を敬愛しその遺徳を慕い云々」という事が加わり、田原坂、延寿寺、東郷神社、治水神社、南洲神社等々の行事への参加という事業を行うようになりました。即、「鹿児島を学ぼう!」の目的が加わったように思います。私も全ての行事に参加しましたが、新しい鹿児島の発見がたくさんありました。気持ちが、そして背筋がびしっとなったように思います。今年も3月20日、田原坂での「西南戦争追悼式」に出席しましたが、色々の事が連想され、心引き締まる思いで帰ってまいりました</p> <p>私もこの会に入会して30数年になりますが、会員の皆さんと一緒に鹿児島を学び、懇親親睦を深める中で、仕事や趣味、遊びの幅も広がり、楽しめるようになりました。福岡さつま川内会の皆さまは、全ての方が福岡鹿児島県人会・福岡南洲会の会員有資格者です。鹿児島を学ぼう…この学びは生涯の友となると思います。良かったら是非!入会をお待ちしています。</p>			<p>この度「福岡さつま川内会」に入会させて頂きました、児玉敏雄です。先に開催された懇親会の場で、自己紹介の際にも申し上げましたが、父・児玉純一が会の創設メンバーの一人としてお世話になっておりました。父はとても郷土愛が強い人ですが随分歳を取ってしまい、当会への参加もままならない状況となりました。</p> <p>そのような折、私事ですが、昨年4月に15年振りに福岡に異動となりました。</p> <p>着任後すぐに仕事を介して鹿児島のご出身の山口さんと出会い、ひよんなことから「福岡さつま川内会」の話になり、山口さんの薦めもあり新留会長にご連絡させていただき、父の意思も引継ぎ、入会させていただきました。実は、父だけではなく母も川内の出身(西向田町)で、太平洋橋の近くで祖父母が「橋口食堂」という食堂を営んでおりました。子供の頃、毎年夏休みに帰省し、祖父母の所で約2週間程度従兄弟たちと過ごした事が、とても懐かしい思い出です。</p> <p>祖父母が亡くなった後は、公園となっており、市民の皆さんの憩いの場となっています。私も度々立ち寄り、子供の頃の懐かしい思い出に思いを馳せたりしています。(右写真:西向田ポケットパーク/橋口食堂跡)</p> <p>入会に際し、今回のご縁を大切に、両親の故郷の皆さんと様々な交流が出来ればと思っています。下手くそですが、ゴルフが大好きなので皆さんと一緒に出来る日を楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い致します。</p>																					
<p>会員計報</p>	<p>園田 健夫さん(東郷) (KBC九州朝日放送/元専務取締役)</p>			<p>ご逝去を悼み 謹んでお悔やみ申し上げます</p>																				
<p>今年3月29日、誤嚥性肺炎の為に逝去されました。享年93歳。昭和29年九州大学経済学部卒業後、朝日新聞社を経てKBC九州朝日放送に入社。報道・総務畑で活躍。博識多才・芸達者で、福岡財界の名士が演じる歌舞伎「福岡名士劇」にも出演されるなど幅広い活動をされておりました。囲碁・ゴルフ・釣り・麻雀・カラオケの名人で焼酎党。郷土愛が強く、同郷の後輩の面倒見もよく、福岡さつま川内会設立に際して、故・福岡留久大初代会長(九州大学経済学部教授)と協力をお願いにあがると、「それはいいことだ」と設立発起人になってバックアップしてくださいました。90歳の頃まで、九州学会の読書会には毎回出席され、独自の文学論を展開されておられたそうです。本当にお世話になりました。安らかに眠ってください。(2024.5.15会長/新留育郎)</p>																								